

## 安全データシート

作成日:2017年08月26日

SDS 番号:J-1042

第1版

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: HEAT PROCESSOR Solution pH6  
 製品コード: 715281: HEAT PROCESSOR Solution pH6; 150 ml x 4  
 供給者の会社名: 株式会社ニチレイバイオサイエンス  
 住所: 東京都中央区築地 6-19-20  
 担当部門: 品質保証部  
 電話番号: 81-3-3248-2207  
 FAX 番号: 81-3-3248-2243  
 メールアドレス: n1060x005@nichirei.co.jp  
 緊急連絡電話番号: 81-3-3248-2207  
 推奨用途及び使用上の制限: 免疫組織化学染色用

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類:

物理化学的危険性  
健康有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 2A  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 2(中枢神経、呼吸器、心臓、腎臓)  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2(中枢神経系、呼吸器、心臓)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:  
危険有害性情報:

危険  
 強い眼刺激  
 中枢神経系、呼吸器、心臓、腎の障害  
 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、心臓の障害

注意書き

安全対策:

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。

応急措置:

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

保管: 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。  
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。  
 廃棄: 施錠して保管すること。  
 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

## 3. 組成及び成分情報

化学物質の区別: 混合物

化学名 又は一般名	濃度又は 濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
エチレングリコール	≤30.00%	C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub>	2-230	別表第9の75	107-21-1
Tween20	≤10.00%	-	8-55	-	9005-64-5
Triton X-100	≤1.00%	(C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O) <sub>n</sub> C <sub>14</sub> H <sub>22</sub> O	-	-	9002-93-1
水	≥59.00%	H <sub>2</sub> O	-	-	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加物: 情報なし

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第五十七条、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第五十七条、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条の二別表第九)	エチレングリコール(官報公示整理番号 別表9の75)
化学物質審査規制法	優先評価化学物質(法第2条第5項)	エチレングリコール(官報公示整理番号 2-230)
化学物質排出把握管理促進法、PRTR法)	第1種指定化学物質(例:法第2条第2項、施行令第1条別表第1の410)	Triton X-100

## 4. 応急措置

暴露措置による応急処置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行う。 医師の手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 医師の手当てを受けること。
眼に入った場合	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合	<p>口を漱ぐこと</p> <p>医師の手当てを受けること</p> <p>気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。</p>
<p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤</p> <p>使ってはならない消火剤</p> <p>特有の危険有害性</p> <p>特有の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水</p> <p>棒状注水</p> <p>加熱により容器が爆発する恐れがある。</p> <p>消火作業の際に煙を吸入しないよう注意する。</p> <p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。</p> <p>燃焼源の供給を速やかに止める。</p> <p>火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。</p> <p>消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め及び浄化の方法・機材</p>	<p>処置が終わるまで、十分な換気を行う。</p> <p>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。</p> <p>関係者の立ち入りを禁止する。</p> <p>作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用する。</p> <p>河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないよう注意する。</p> <p>環境中に放出してはならない。</p> <p>少量の場合には、ウエス等で吸収させて、密閉できる空容器に回収する。</p> <p>危険でなければ漏れを止める。</p> <p>全ての発火源を速やかに取り除く。</p>
<p>7. 取扱及び保管上の注意</p> <p>取扱</p> <p>技術的対策</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>接触回避</p> <p>衛生対策</p> <p>保管</p> <p>安全な保管条件</p> <p>安全な容器包装材料</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>使用前に使用説明書入手すること。</p> <p>すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>蒸気および霧の吸入を避けること。</p> <p>皮膚及び目の接触を避けること。</p> <p>排気用の喚起を行うこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>環境への放出を避けること。</p> <p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>全ての最新の規則及び基準に従って保管および取り扱いを行うこと。</p> <p>消防法で規定されている容器を使用する。</p>

## 8. 暴露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
エチレングリコール	未設定	未設定	TWA-STEL C 100 mg/m <sup>3</sup> A4
Tween20	未設定	未設定	未設定
Triton X-100	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

## 設備対策

局所排気装置を設置すること。  
 暴露上限を遵守させること。  
 作業区域には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

## 保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を使用すること。

手の保護具

必要に応じて適切な保護手袋を使用すること

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣、保護面を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理学的性質

形状	液体
色	透明無色
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 データなし 上限 データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

通常の条件では危険有害な反応は起こらない。

化学的安定性

常温では安定である。

危険有害反応可能性	強酸化剤、強塩基と反応する。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	強酸化剤、強塩基。
有害な分解生成物	燃焼により刺激性又は有毒なガス(一酸化炭素)を発生する
11. 有害性情報	
急性毒性	経口 データがなく分類できない 経皮 データがなく分類できない 吸入: 気体 データがなく分類対象外 吸入: 蒸気 データがなく分類できない 吸入: 粉じん、ミスト データがなく分類できない
皮膚腐食性及び刺激性	エチレングリコール及び Tween20 が区分 3 で、成分合計が 40% であり、濃度限界(10%)以上のため、区分外に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	エチレングリコールが区分 2A 及び Triton X-100 が区分 2B で、成分合計が 30% であり、濃度限界(10%)以上のため、GHS: 区分 2A 「強い眼刺激」に該当する。
呼吸器感作性	データがなく分類できない。
皮膚感作性	データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	エチレングリコールが区分 1 で濃度限界(10%)以上のため、GHS: 区分 1(中枢神経系、呼吸器、心臓、腎臓)に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	エチレングリコールが区分 1 で濃度限界(10%)以上のため、GHS: 区分 1(中枢神経系、呼吸器、心臓)に該当する。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性(急性)	成分の毒性値はエチレングリコールが区分 2(魚類: 3.0 mg/l) であり、計算値が 33.0 mg/l、区分 3 となるが、10 x 区分 2 が 11% となり、濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当する。
水生環境有害性(長期間)	データがなく分類できない。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害

- 性を充分告知の上処理を委託する。  
 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。  
 汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意  
 本品は危険物に該当しない。
- |      |                               |                          |
|------|-------------------------------|--------------------------|
| 国際規則 | Regulatory Information by Sea | Complied with IMO.       |
|      | Regulatory Information by Air | Complied with ICAO/IATA. |
| 国内規制 | 陸上規制                          | 消防法の規定に従う。               |
|      | 海上規制情報                        | 船舶安全法の規定に従う。             |
|      | 航空規制情報                        | 航空法の規定に従う。               |
15. 適用法令
- |                      |   |
|----------------------|---|
| 労働安全衛生法              | 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第五十七条、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条)       |
|                      | 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第五十七条、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条の二別表第九) |
| 化審法                  | 優先評価化学物質(法第2条第5項)                                   |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | 第1種指定化学物質(例:法第2条第2項、施行令第1条別表第1の410)                 |
| 毒物及び劇物取締法            | 非該当   |
| 廃棄物処理法               | 非該当   |
| 消防法                  | 非該当   |
| 船舶安全法                | 非該当   |
| 航空法                  | 非該当   |
16. その他の情報
- |      |   |
|------|---|
| 連絡先  | 株式会社ニチレイバイオサイエンス  |
| 参考文献 | NITE GHS 分類公表データ<br>EU CLP Regulation, Annex VI<br>RTECS<br>ECHA C&L Inventory Database |
- 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。